

E-Mail: taniyama-cc@lagoonne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tvcc/>

発行人: 頭島光神父 編集委員: 上原敏子、上釜照美、徳永珠美

2022年 10月1日

(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

〒891-0113

鹿児島市東谷山 2-33-13

TEL・099-268-2084

FAX・099-284-5738

あなた方は私の証人となる(使徒 1:8)

カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島神父



10月23日は「世界宣教の日」です。信徒言行録にある通り、弟子たちは復活の主と最後の言葉を交わした後、まさに宣教に向けて旅立つのですが、昇天して、父のもとに挙げられる直前、主イエスが弟子たちに託したのが、この言葉でした。同じように、私たちも主の復活の証人となったのです。言うまでもなく、これが世界宣教のテーマです。「教会はその本性上、宣教的である」とは、今も変わらない私たちの現実です。フランシスコ教皇様も今日のこの日のためにメッセージを発しておられます。宣教という使命を果たすために、今私たちに何ができるかを、教皇様の言葉を通して、ともに考えていきたいと思います。

◆証人となる

証人とは、字義通り、証しする人です。何を証しするのか。言うまでもなく、十字架にかかり、三日目に復活したキリストを証しするのです。私たちはその証人なのです。イエスが御父からこの世界に遣わされて来られたように、私たちも聖霊に促されて、世界に出向き、キリストを証し、社会を福音化する使命を帯びているのです。それは私一人が証人となったのではなく、教会共同体の全員がこのキリストの証人となったのであり、そのための宣教へと呼び掛けられたということをお忘れはなりません。つまり、教会が宣教に出向くのは、一人だけで行くのではなく、皆と共に向かうのです。

◆派遣される

ミッションとは、使命であり、派遣という意味を持っている言葉です。イエスは、私たちを世界に派遣して言います。「行きなさい」と。そして「地の果てまで」と宣言したのです。キリストの復活を証しすることは難しく困難、かつ不可能なことでしょうか。ミッションナリーズという表現があります。これは宣教者たち、或いは宣教のための様々な事象を意味します。つまり、ミッションには複数の色、形があるのです。皆が同じ姿でないように、異なる使命がそれぞれに与えられていて、キリストを証しするのです。何人かと行動しても、皆が同じ賜物を発揮するわけではありません。

◆福音を告げ知らせる

私たちがミッションに出向き、派遣されるとき、使命が違って、証しすべきお方はただ一人、同じイエス・キリストです。

最初の宣教者であった使徒たちは、自らの言葉と行いによって、救いの喜びの知らせである福音を、すべての人に告げ知らせました。私たちも彼らと同じ使命をいただいています。従って、私たちが主の証人であることは、キリストのために、この命を捧げても惜しくはないのです。そのために愛を実践し、ただひたすら福音を懸命に生きるのみです。



一天から落ちるサタン

◆信仰を伝える

キリストを証しする生活とは福音的に生きることです。その生き方によって、私たちは信仰を伝えていきます。信仰が具体的に生活の中に生きるために、みことばを聞きます。神のみことばに耳を傾け、これに従うことが福音的に生きることだからです。「互

いに愛し合いなさい」と聞いているなら、それを実践し生きることです。必要なのは実行する勇気、福音への素直な姿勢、そして福音を告げ知らせる大胆さです。弟子たちが受けた世界宣教の使命は、地の果てまで続きます。国境を超え、境界線を乗り越え、地の果てまで出向いていくことです。

◆聖霊の風に吹かれて

キリストはただ「行きなさい」と、宣教の使命を丸投げしたわけではありません。その大きな偉大な使命を果たすために、私たちに聖霊を送られたからです。「あなた方の上に聖霊が降ると力を受ける。そして、証人となる」(使徒 1:8)と言われました。完全にイエスを拒んだあのペトロも聖霊に促され、福音伝道者となりました。彼の福音説教は、多くの人に回心の恵みを与え、新たなキリストの証人を得たのです。聖霊の恵みと助けを願って祈りましょう。



「レデンプトル会の聖人と福者」

10月は毎日ロザリオを—教皇が呼びかけ

16日 修道院の鑑 聖ジェラルド・マイエラ



死にいたるまで、しかも十字架上の死にいたるまで、御父に 従われたキリスト。聖ジェラルドの生涯もこれと同じく、天の父への完全な従順に貫かれています。幼いころから病弱だった彼は、早くから召命を確信していながらも入会を長い間 拒まれ、やっと念願がかなったのは 1749 年、23 才のときでした。3年後に終生誓願を立て、修道士としての勤めを果たしながら、29 才で亡くなるまで貧しい人 や病人に献身的に奉仕し続け、多くの回心をうながしています。またあるとき難産に苦しむ女性を助けたことから、後にはお産の守護聖人と呼ばれるようになりました。「**ご聖体は見えないキリストですが、病人や貧しい人は見えるキリストです**」と いつも口にしていた通り、彼らの中に救い主を見だし、自分自身もそのようになりたいと熱望して、残された生涯を捧げつくした聖ジェラルド。キリストがそうであったように、その神への限りない信頼と完璧な委託 は、修道者の鏡として称えられています。1793 年に列福、1904 年に聖人の位に上げられました。

(1725年～1755年)

誓願を立て、修道士としての勤めを果たしながら、29 才で亡くなるまで貧しい人 や病人に献身的に奉仕し続け、多くの回心をうながしています。またあるとき難産に苦しむ女性を助けたことから、後にはお産の守護聖人と呼ばれるようになりました。「**ご聖体は見えないキリストですが、病人や貧しい人は見えるキリストです**」と いつも口にしていた通り、彼らの中に救い主を見だし、自分自身もそのようになりたいと熱望して、残された生涯を捧げつくした聖ジェラルド。キリストがそうであったように、その神への限りない信頼と完璧な委託 は、修道者の鏡として称えられています。1793 年に列福、1904 年に聖人の位に上げられました。

—レデンプトル会ホームページより—

5日 福者フランシスコ・ザビエル・シーロス



フランシスコ・ザビエル・シーロスは、2000 年 4 月 9 日、教皇ヨハネ・パウロ 2 世より福者に上げられました。司祭を目指して勉強していた大神学校時代にレデンプトル会の司祭達との出会いがあり、その修道会が見捨てられた人々のために創立された会であることを知り、また修道会がアメリカに移住した人々のために働いていることも知りました。

(1819年～1867年)

レデンプトル会に入会し、自らの希望でアメリカに渡り、各地で霊的指導を行い、**聖ヨハネ・イノマンと共に生活し**、共に働き、彼と同じ司牧精神をもって、贖い主イエス・キリストの模範に従い、一生を捧げました。

—レデンプトル会ホームページより—
教皇ヨハネ・パウロ 2 世は、シーロス神父を「祝福」するミサの中で、次のように述べました：フランシスコ・ザビエル神父は、彼が働いていたさまざまな場所で、彼の情熱、犠牲精神、使徒としての熱意をもたらした。見捨てられ、失われた人々に、「永遠の救いの源」(ヘブライ 5:9)であるイエス・キリストのメッセージを説き、告解室で過ごす時間の中で、多くの人々が神のもとに戻ることを確信させたのです。今日、福者フランシスコ・ザビエル・シーロスは、懺悔と聖体の秘跡においてキリストとの結びつきを深めるよう教会員に呼びかけます。彼のとりなしによって、神の民の救いのためにぶどう園で働くすべての人が、その仕事において励まされ、強められますように。

—Localizadorblogより—

7日 ロザリオの聖母

バチカンが9月29日、発表した声明によりますと、教皇フランシスコは全世界のカトリック信者に向けて、10月の「ロザリオの月」の間、毎日「ロザリオの祈り」を唱えるよう呼びかけています。教皇はカトリック信者に、「神の民としての交わりと悔い改めのうちに一致して、私たちが神から引き離し、仲たがいをさせようと絶えず試みている悪魔からの保護」を願い、「神の聖なる母と聖ミカエル大天使に祈る」よう促しています。



教皇は「ロザリオの祈り」の最後に、古来の聖母への祈り「Sub tuum praesidium」(スブ・トゥウム・プレシディウム)と、悪との闘いでの保護と助けを願って「大天使聖ミカエルに向(むこ)う祈り」を唱えるよう勧めています。

教皇はマリアに教会の保護を願って祈ると同時に、「教会がその罪と過ち、現在と過去に犯した虐待をより深く意識し、悪がはびこらないように、ためらいなく闘う決意を固める」ことも願っています。

—2018年10月1日—カトリック中央協議会—

✠ 神の御母よ、わたしたちのご保護を仰ぎます。いつ、どこでもわたしたちの祈りを聴き入れ、御助けをもってすべての危険から守ってください。アーメン。



「ロザリオをなつ

「どんなにゴウマンな人でも、他人の

ゴウマンな姿には不愉快さを感じるものだ。」と、あるゴウマンな人が語ったら、

それを聞いて、「ほんとうにそうだ。」と、

もう一人のゴウマンな人がうなずきました

とき。

【解説】

とかく、自分のことは分からないものです。

ハンス・ハヌス師

—心に残ることばより—



敬老の日おめでとございます

9月18日、敬老者のための主日のミサがありました。対象の80歳以上の方々は79名でした。おめでとうございます。当日は台風14号接近のため公開ミサはなく、配信のみでした。

コロナ禍の中、お会いすることもままなりません。皆さま、どうぞ神様の豊かな恵みの中で、健やかにお過ごしになられますように。今年も主任司祭からのメッセージとメダイ付きのカードが贈られました。



2022年10月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

9月から始まった「すべてのいのちを守る月間」も、今月の4日、アシジの聖フランシスコ修道者(記念日)で終わります。この10月は、ロザリオの月です。巻頭言でも書きましたように、宣教する人となって、キリストの復活を発信する、証しする行動を、私たちもまたできるところ実践していきましょう。もちろん、ウクライナの戦争は、まだ終わっていませんし、コロナウィルス感染症の勢いも少し静まった感もありますが、まだまだ苦しみの中にあることを忘れずに、世界の平和をマリア様と共に、ロザリオの珠に願いを込めて祈りましょう。

さて、今月もまたコロナウィルス感染症対策による注意喚起は変わりません。手指消毒、検温及びマスク着用を遵守しましょう。聖堂内への入場制限はそのまま80人。聖歌もこれまで通り、祝日以外、質素に歌っていきます。今後も、ミサ典礼の先唱朗読の奉仕、よろしくお願ひいたします。

- ◆受付での手指消毒及びマスク着用と検温、そして署名等、カード記入に協力願ひます。
- ◆9時ミサへの聖堂入場制限、80人のまま続けます(*但し、典礼奉仕者を除く)。
- ◆上記の人数を超えても、玄関ロビーから参加可能です。
- ◆尚、泣部屋は子ども連れのご家族に割り当てられています。
- ◆聖堂内では座席番号にお間違いがないように、ご着席ください。
- ◆一部、窓を開けての換気と空調温度は高めに設定(28℃)、稼働しています。
- ◆聖体拝領は一列に並び、前後 1m、間隔を空け、ゆっくりと前に、順にお進みください。



ロザリオの聖母

10月の典礼の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 10月2日 年間第27主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 4班
◇ 10月9日 年間第28主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 5/11班
◇ 10月16日 年間第29主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 6/7班
◇ 10月23日 年間第30主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 8/9班
◇ 10月30日 年間第31主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 10班

★新しいミサ典礼の開始も、あと二か月と迫る中、ミサの式次第「ともにささげるミサ」(会衆用)の読み合わせ会も、3回できました。10月は6日、13日、27日の、計3回をいずれも木曜日、午後6時半から行います。朗読及び典礼奉仕にあたる人は参加しましょう。ミサ典礼文を読み合わせるだけでも、勉強になります。時間は一時間程度です。お忙しい中ではあると思いますが、時間の都合をつけご参加下されば幸いです。また、30日の日曜日、第2回目の蚤の市(フリーマーケット)を開催します。出店希望者はお申し込みください。

2022/10/1 ロザリオの月の初めに 主任司祭 トマス頭島 光

報告 ワーク ショップ シノドス 共に歩む

(神父様のお話の一部です)

2022年9月11日(日)ミサ後第2回目のワークショップが開かれた。「えっ、何?」「ビジネス用語?」と思ったのは、私だけではないのでしょうか? ネットで検索すると「体験型・参加型の講習会・セミナー」とあります。なるほど「受け身」ではなく「主体性」を持つということか。私の一番の苦手とするところ。ワークショップも2回目とあっていろいろな意見が出された。(上原)



出向いて行き、他宗教と対話する。何かできる共同体。

絆と寄り添い。連帯と責任。一人もとり残さない

福音宣教。共に歩み常に識別する。

令和4年(2022年)谷山教会10月の予定と祝日表(10月01日～10月31日)

日 時		典礼と行事		朗読奉仕	掃除当番	班会
1日	土	記念日 19:00	聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士 年間第27主日のミサ	今月の行事当番 班は4班です。	④	教会
2日	日	6:30&9:00	年間第27主日		④	
3日	月	6:30	朝ミサ			
4日	火	記念日 6:30	聖フランシスコ(アシジ)修道者 朝ミサ			
5日	水	19:00	召命ミサ/フランシス・ザビエル・セーロス福者(レデンプトル会)記念日			
6日	木	6:30	朝ミサ *新しいミサ典礼の読み合わせ勉強会(4) 18:30～			
7日	金	記念日 19:00	ロザリオの聖母 初金ミサ			
8日	土	19:00	年間第28主日のミサ/聖母の土曜日		⑤⑪	教会
9日	日	6:30&9:00	年間第28主日/ミサ後 教会役員会	⑤⑪		
10日	月	6:30	朝ミサ *教区評議会 ▶スポーツの日			
11日	火	6:30	朝ミサ			
12日	水	19:00	召命ミサ <求道者勉強会シーズンVII>3			
13日	木	6:30	朝ミサ *新しいミサ典礼の読み合わせ勉強会(5) 18:30～			
14日	金	6:30	朝ミサ			
15日	土	記念日 19:00	聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士 年間第29主日のミサ		⑥⑦	教会
16日	日	6:30&9:00	年間第29主日 *コミチウム 14:00～ 聖ジェラルド・マイエラ修道者(レデンプトル会)記念日	⑥⑦		
17日	月	記念日 6:30	聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者 朝ミサ			
18日	火	祝日 6:30	聖ルカ福音記者 朝ミサ			
19日	水	19:00	召命ミサ			
20日	木	6:30	朝ミサ			
21日	金	6:30	朝ミサ			
22日	土	19:00	年間第30主日のミサ/聖母の土曜日 *司牧評議会の設営8, 9班		⑧⑨	教会
23日	日	6:30&9:00	年間第30主日/ミサ後司牧評議会 *世界宣教の日	⑧⑨		
24日	月	6:30	朝ミサ			
25日	火	6:30	朝ミサ			
26日	水	19:00	召命ミサ <求道者勉強会シーズンVII>4			
27日	木	6:30	朝ミサ *新しいミサ典礼の読み合わせ勉強会(6) 18:30～			
28日	金	祝日 6:30	聖シモン 聖ユダ使徒 朝ミサ			
29日	土	19:00	年間第31主日のミサ/聖母の土曜日		⑩	教会
30日	日	6:30&9:00	年間第31主日/ミサ後 蚤の市(フリーマーケット)	⑩		
31日	月	6:30	朝ミサ			

*10月はロザリオの月です。毎週日曜日9時ミサの開始時間40分前からロザリオの祈りを唱えます。
世界の平和の為、ウクライナの人々の為、貧しい人々、虐げられた人々の為にマリア様の取次を願って、お祈りを捧げましょう。日曜日はロザリオを持って、早めにお越しください。宜しくお願い致します。 レジオ・マリエ

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	4, 11, 18, 25日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:00～	5, 12, 19, 26日
聖書と教理 - II	毎週金曜日 10:00～12:00	7, 14, 21, 28日